

こんにちは

# 中根さちの ハーフレター



日本共産党 高知県議会活動報告ニュース 県議会控室 823-9524 高知市丸之内1-2-20  
自宅 872-9324 高知市福井町1475-3

2023.3.19  
NO.764

## 2023年春! 教育現場では 深刻な先生不足

子どもたちの成長をようこそ  
来年度につなげる季節になりました。  
4月から、学校現場に立ち、子どもたちに向むかう先生が、3月中旬時点ですで30人不足。今年4月から導入された  
産休育休に対応する人員配置

12人もめどがたたない状況です。日本共産党県議団は、この間も、不足解決のために、全国と比較しても突出して多く配置されている指導主事174人を現場に回し、子どもたちの教育に具体的に穴があくことのないようにすべきだとして主張してきました。先生を指導する先生より、子どもの前にたつ先生をしっかりと配置することが今求められています。先生のいたない教室をつくることはできません。根本的解決を!

2021年に県立高校で教育実習をした大学生が、指導教官や教員から深刻なパワハラ行為を受け、診療内科を受診する事態になりました。大学生の家族は学校や県教委に事実

吉良氏は物価高騰のもとでの県の産業振興と報告を求めていました。

吉良氏は物価高騰の

彦高知県議は1日、代表質問で、教育実習生のパワハラ被害や物価高騰対策などを取り上げました。

2021年に県立高校で教育実習をした大学生が、指導教官や教員から深刻なパワハラ行為を受け、診療内科

ハラの事実を認めできませんでした。

吉良氏は指導教官らの暴言や実習生に課した過大な仕事などを具体的に示して追及。長岡幹泰教育長は「一部指導においてハラスメントにあたる言動があったことを確認するに至りました」とパワハラの事実を認めました。

吉良氏は物価高騰の

分野の処遇改善で雇用と地域の生活基盤を守る取り組みなど、現に地域で暮らしている人々を支える予算に抜本転換が必要だと力説。産業振興計画も含め、県予算に、県内の循環させていく再エネ・省エネ転換の抜本強化、1次産業の支援拡充、保育・介護等ケアの推進や県産材の生産拡大、県産材の利用促進、商店街の活性化などをあげることにとどまり、保育・介護等の分野には触れませんでした。

## てくてく歩記 (761)

わたくしの  
歩き方。  
無償にして、一方で、保護者負担にまどります。  
もうおぞろしきを感じます。  
一方で、防衛費2倍以上復興特別所得税を約半分をあてる機制大綱を決める政府。

22日市会の県議会もいよいよ最終盤を迎えてます。物価高騰の中、こうを守る予算をとめて、LPGガスの補助を県が4月6月に毎月1000円分、3000円の補助をうなぎ、十分なものにありません。国から出された地方創生特別交付金のうち切合、学校給食費や保健料を無償にして、一方で、負担にまどります。一方で、防衛費2倍以上復興特別所得税を約半分をあてる機制大綱を決める政府。

「春らんまんの季節、政局を変えるは今だ」  
「休日の本拠舎の出入りにマイナンバーカードを利用する条例議案や「中土佐町の65歳以上の皆さんへの交通費(バス運賃)を無料にする際、バスの乗降にマイナンバーカードを利用する」などなど。国のマイナンバーカード強要に高知県でもなぜ?と思える施設提案が「国費をざくざくつけたデジタル田園都市構想は異様です。リスクへの危機感は皆無で、義務化もされていないのにこんなやり方は、不妥をあります。